

慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resources

Title	第18回東京オリンピック大会に参加した陸上競技選手についての一考察
Sub Title	A study of track-and-field athletes participating in the 18th Olympiad Held in Tokyo
Author	米村, 昌二(Yonemura, Shoji)
Publisher	慶應義塾大学体育研究所
Publication year	1965
Jtitle	体育研究所紀要 (Bulletin of the institute of physical education, Keio university). Vol.5, No.1 (1965. 9) ,p.41- 77
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00135710-00050001-0041

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

第18回東京オリンピック大会に参加した 陸上競技選手についての一考察

米 村 昌 二*

I. 序 言

II. 調査方法

III. 考 察

1. 男 子

- (1) 年齢と競技種目
- (2) 身長と競技種目
- (3) 体重と競技種目

2. 女 子

- (1) 年齢と競技種目
- (2) 身長と競技種目
- (3) 体重と競技種目

IV. 結 論

I. 序 言

世界中のあらゆる民族が、「世界は一つ」の名のもとにつどい、技と力を競った1964年の第18回東京オリンピック大会が、近代オリンピック始まって以来の多くの参加国と参加選手を集め、かつて今までの大会にみられなかった数々の世界記録をはじめ、オリンピック記録の樹立とともに大成功裡に終わったことは、まことに感無量なものがあった。

オリンピックのモットーとしていわれている「より速く」「より高く」「より強く」のもとに競った世界のアスリートたちは、それでは一体どれくらいの「年齢」でどんな「体格」の持ち主で、どれくらいの記録をもち、更にどこの国の人びとであったかということを主に調査してみたが、それらをもとにして現在までわかったところを報告する。

* 慶應義塾大学体育研究所講師

II. 調査方法

従来私の研究の一分野である「運動適性と体型」といった問題につき前巻まで述べてきたものは、「スポーツの種目と体型」との関係において、なんらかの相関関係があること、更に秀れたスポーツマンの中にみられた特徴ある体型を指摘してきた。もちろん、例外として存在する体型も述べてはきたが、今回ここに述べるのは体型を決めるのに根底をなすもの、すなわち、年齢、身長、体重といったものであり、更に各自の有する記録はオリンピック終了までのもの、あるいはエントリーに記載されたものをもって最高記録とした。

参加申込者は男女ともに、リレー種目及びそれだけに申込んだものを除き、男子22種目 914名、女子11種目312名、総計1,226名であった。これらの中には申込んだだけで実際に試合に出場しなかった選手が若干あった。

III. 考察

1. 男 子

前頁第1表はトラックの競技とフィールド競技全部、22種目の全員の年齢、身長、体重についての最高値、最低値ならびに平均値といったものである。種目の次の数は人数である。

第2表は入賞した6名あるいは7名について第1表と同様な方法で出した資料である。

それぞれの種目におけるこまかい資料は文末の第5表から第26表までに記載しておいた。これらの表は、年齢、身長、体重の各欄については上段に参加者全員について取り扱い、下段に入賞したものを対照として記し、更にその下に優勝者の項を加えてみたものである。

次にこれらの表を図形化することにより判定の資料とした。

(1) 年齢と競技種目

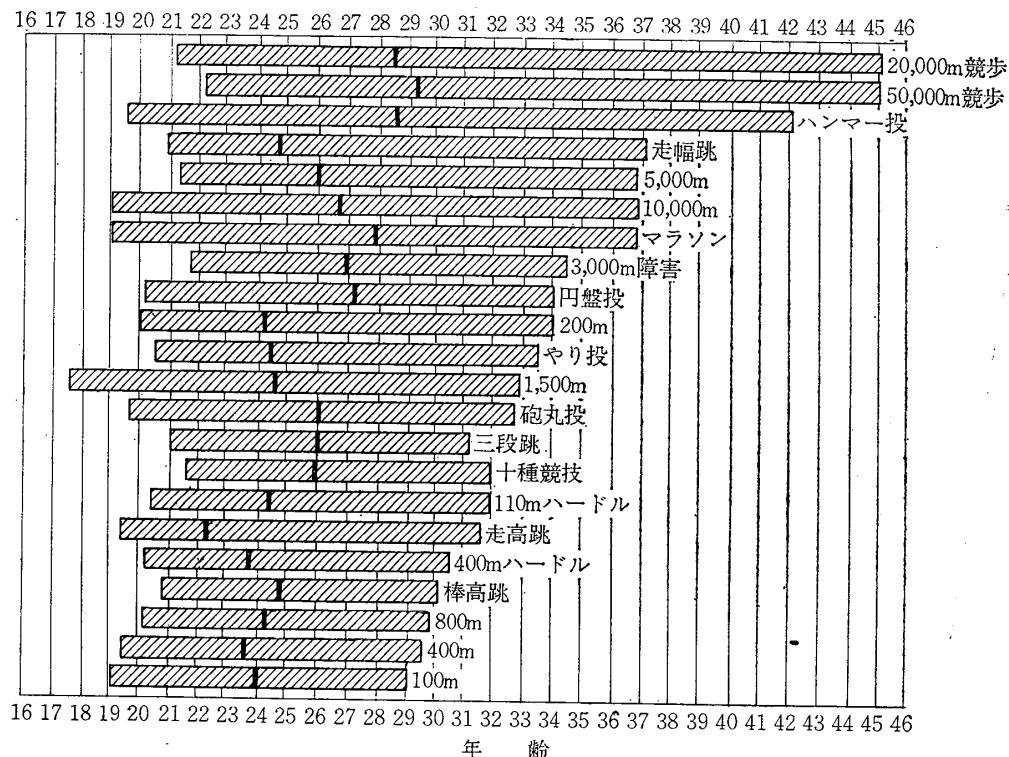
参加者全員の中で一番競技年齢の長い種目は20000m競歩（21.2歳から45歳となっており、平均年齢が28.6歳）であり、また50000m競歩（22歳から45歳まで、平均29.6歳）であり、両種目とも最年少者と最年長者とでは20歳以上も拡がっていることがわかり、従ってまた平均年齢も高くなっている。

次頁の第1図は参加者全員についてそれぞれの種目別に年齢の拡がりを示したものである。縦の太線は平均年齢を示すものである。

競歩について競技年齢の長い種目はハンマー投であり、競歩と同様40歳でも出来ることをものがたっている。その他の種目では最高が37歳代といったところである。

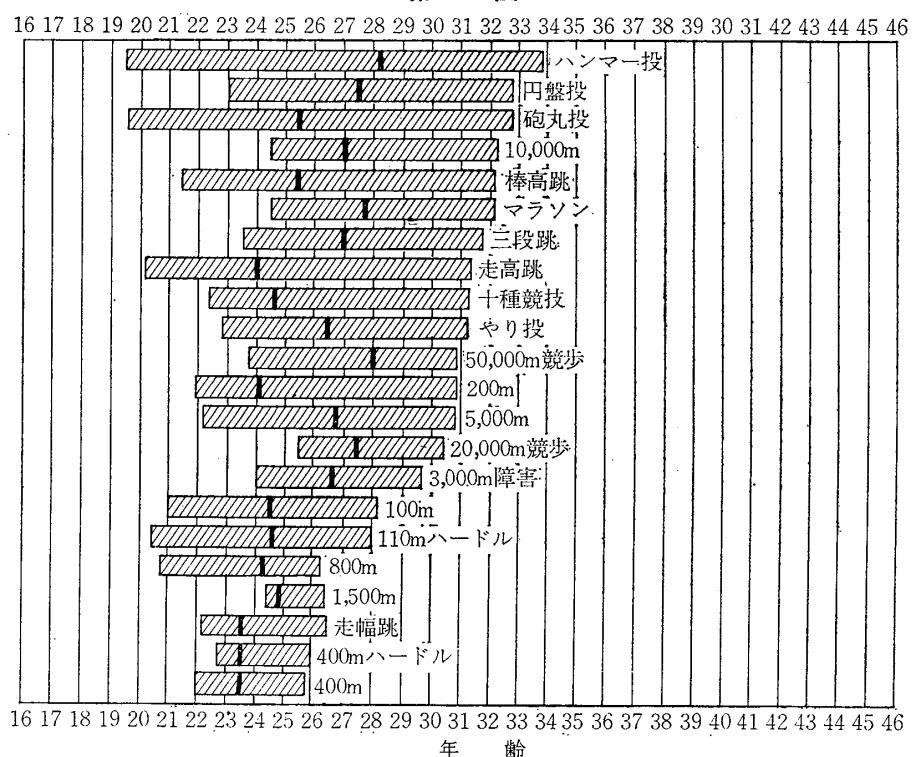
第18回東京オリンピック大会に参加した陸上競技選手についての一考察

第 1 図



(男子全員についての競技種目別にみた年齢分布図型。縦の太線は平均年齢)

第 2 図



(男子入賞者について競技種目別にみた年齢分布図型。縦の太線は平均年齢)

第18回東京オリンピック大会に参加した陸上競技選手についての一考察

競技年齢の極限された種目としては 100m となっており、出場者の最年長者が29歳で最年少者が19歳となっており、拡がりが10年といったところであった。

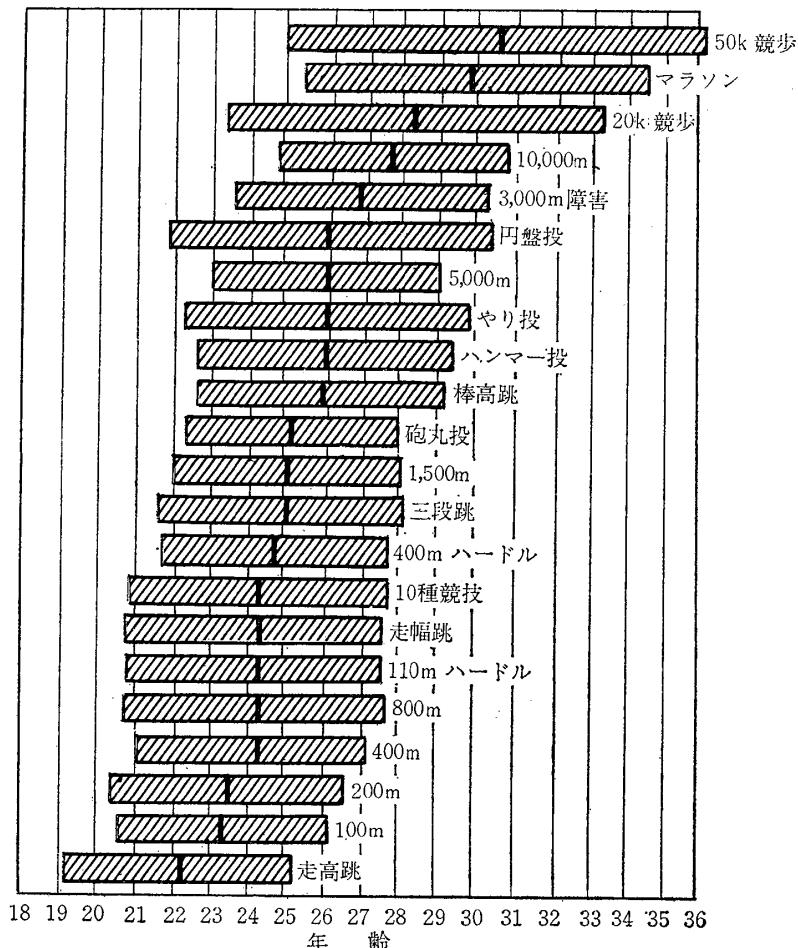
全体の中での最年少者は 1500m に出場したライアン（アメリカ）17歳であった。この種目の平均年齢が24歳代であることからすれば、むしろ例外的な年齢であるといわねばならない。最年長者は両方の競歩に出場したリュングレン（スウェーデン）45歳であった。

次に入賞者の年齢をみた場合（第2図）、最年長者はハンマー投で4位になったリクリン（ソビエト）33.9歳であり、最年少者は同じ種目で3位になったバイエル（ドイツ）19.6歳と、砲丸投で2位になったマトソン（アメリカ）19.7歳であった（第10図）。

競歩の場合、入賞者の最高が31歳となっていることからすれば、やはり40歳代の入賞は無理と察せられる。

図型でも察せられるように、トラック競技に較べフィールド競技の入賞者には、30歳を過ぎたものが若干いることであるが、短距離、中距離およびハーダル、更に走幅跳といった種目ではみられなかったことである。

第3図



(第17回ローマオリンピック大会の時の競技種目別にみた年齢分布図型。縦の太線は平均年齢)

第18回東京オリンピック大会に参加した陸上競技選手についての一考察

400mおよび400mハードルでは入賞者の最年長が25歳代であり、全体の種目で平均年齢の最も低い種目には400m、200mおよび走幅跳があった。

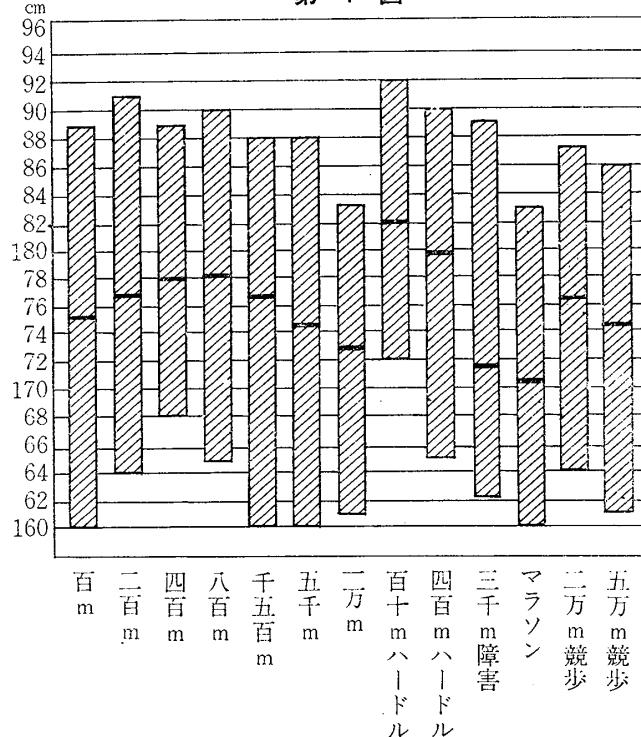
以上、年齢からみた場合に、競歩およびフィールド競技のほとんどの種目は30歳を過ぎても入賞圏内の年齢にあるとみてよいだろうが、短距離、中距離およびハードルといった種目は至難といわねばならない。

入賞者の平均年齢のもっとも高い種目はハンマー投の28歳代、マラソン、円盤投および10000mの27歳代であった。

年齢と競技種目による考察については、ケンタッキー大学のイヨークルの論文を本紀要第3巻第1号に紹介したが、更に引用してみると、前頁の第3図は第17回ローマオリンピック大会に参加したもののが競技種目別の年齢分布図型である。

今回の東京大会と比較してみると、ローマ大会の場合は全種目の中で平均年齢のもっとも低い種目が走高跳の22歳代となっており、逆にもっとも高い平均年齢が50000m競歩の30歳代となっていた。今回の場合と比較してみた場合に、同じく走高跳の22.2歳代と50000m競歩の29.6歳代となっている。このことはイヨークルが言っているように、競走距離の長さと年齢の間に相関関係が存在することを意味していることなのである。このことに関しては、今回の私の調査の場合にもまったく彼の意見と一致するものがあった。1962年7月、スタンフォード大学医学部で催された「米・ソ・スポーツ医学会議」で、ソビエトのN.オゾーリンが世界の秀れた50人

第4図



(参加者全員の身長分布図型。横の太線は平均身長)

第18回東京オリンピック大会に参加した陸上競技選手についての一考察

第 5 図



円谷, 10000m 6位
マラソン 3位
24.5歳, 163cm, 54kg

(「The Spectacle of Tokyo Olympics 1964」ベースボール・マガジン社より)

第 6 図



アベベ, マラソン優勝
32.2歳, 177cm, 61kg

の短距離および中長距離選手の年齢を根底として行なった研究報告の中で、集団的にみて短距離走者はマラソン競技者よりも7~9歳若いということを報告しているが、この意見についても今回の私の調査の場合にもまったく同じ結果になっていることを報告しておく。

(2) 身長と競技種目

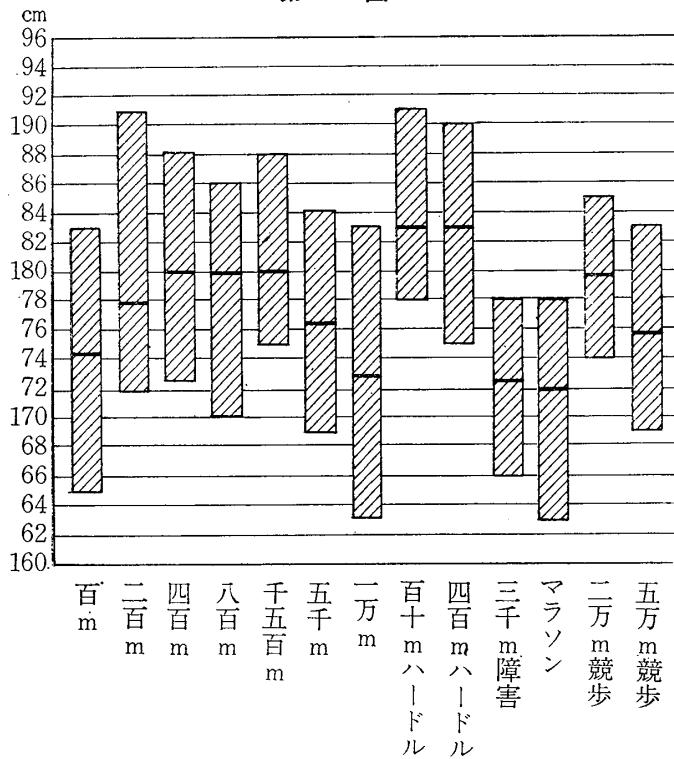
トラック競技

参加者全員についてみた場合、第4図でも観察されるように、背丈のもっとも低い種目は、100m, 1500m, マラソンといった種目で、いずれも最低160cm代となっており、最も高いほうに属する種目は110mハードルで、192cmであった。

平均身長の一番低い種目はマラソンの170cm代で、逆に一番高いほうは110mハードルの182cmであった。全体的にみた場合、国別にみて、東南アジアおよびアジア地域の選手にはおおむね、種目別に観察して一番低いほうに属するものが多くみられたことである。

10000mで6位、マラソンで3位に入賞した円谷の場合(第5図)にはその種目の中では参加

第 7 図



(入賞者全員の身長分布図型。横の太線は平均身長)

者の平均以下であり、また入賞者の中では一番低いほうに属していた。

入賞者の場合に一番低い身長の者は先述の円谷の 163cm であり、一番高いほうの者は200m で優勝したカーナ (アメリカ) 191cmと、110mハードルで2位になったリンドグレン (アメリカ) 191cmであった。

全体からみて平均身長が高いのは110mハードルと400mハードルの183cm代であり、低いのはマラソン及び3000m障害の172cm代であった。100m及び10000m、マラソン、3000m障害といった種目では身長の優劣による差位は認められないが、ハードル競技においてはあきらかに身長の優劣の差異が入賞に影響していることが明らかである。400m、800m、1500mといった種目になると、平均が178cm から180cmの間にあり、やはり身長の影響があって背丈の高い方が有利と思われる。

フィールド競技

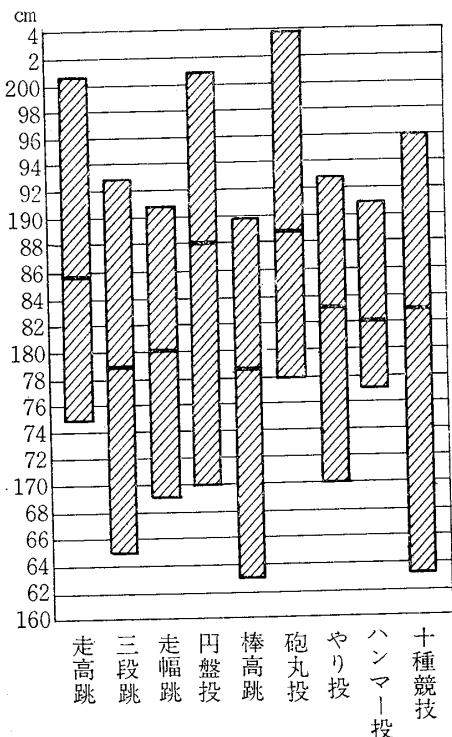
フィールド競技の参加者全員についてみた場合、一番低い方に属する種目には棒高跳及び十種競技があり、いずれも163cmとなっており、逆に一番高いほうに属するのには砲丸投の 204cm となっている (第8図)。

全体の種目の中で平均身長の一番低いのは棒高跳の 179cm で、逆に一番高いのは砲丸投の 196cm であった。

陸上競技を身長から観察した場合、トラック競技とフィールド競技ではあきらかに形態的に違

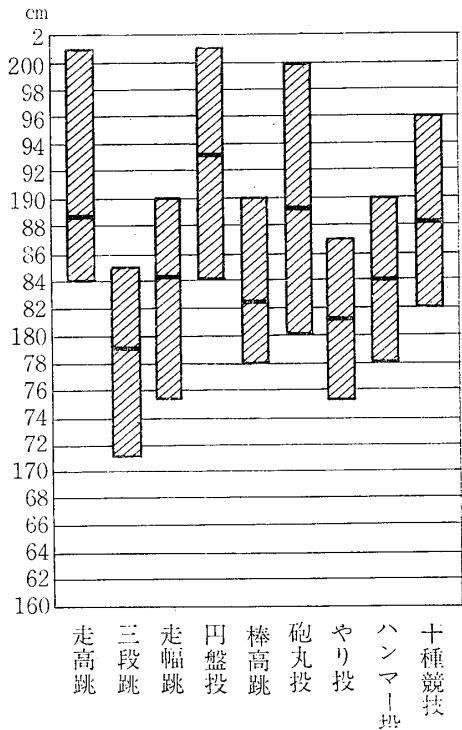
第18回東京オリンピック大会に参加した陸上競技選手についての一考察

第 8 図



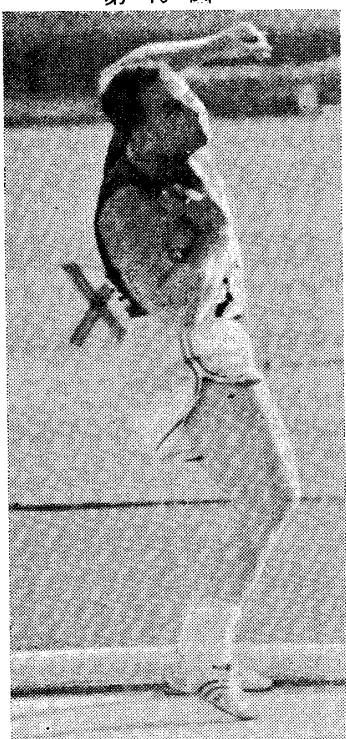
(参加者全員の身長分布図型。横の太線は平均身長)

第 9 図



(入賞者全員の身長分布図型。横の太線は平均身長)

第 10 図



マトソン、砲丸投 2 位
19.7 歳、200cm、109kg
〔The Spectacle of Tokyo Olympics 1964〕ベースボール・マガジン社より

うということである。

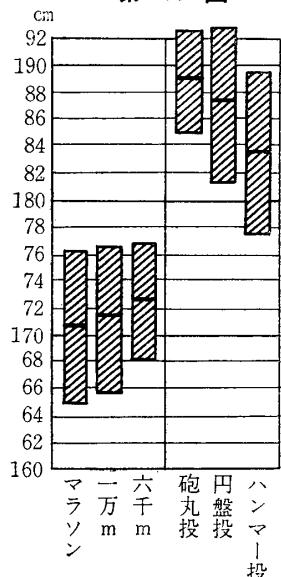
フィールド競技参加者の中で、走高跳を除く跳躍では他の種目に較べて割合に背が低いことがわかる。総合的にみて文末の表からでも観察されるように、あるいはまた先述のトラック競技の場合でもそうであったが、日本を含めたアジア地域の選手が、それぞれの種目の中で一番低い方に属していたことである。このことが果して記録の不振の原因なのかどうかは判らないが。

なお、入賞者の場合、第9図にみられるように全体の中での身長の最高は走高跳3位のランボ（アメリカ）2m1cmと円盤投3位のウェイル（アメリカ）2m1cmであった。また、砲丸投で2位のマトソン（アメリカ）も2mであった（第10図）。

以上のような種目の平均身長もやはりそれぞれ高く、円盤投では193cm代となっている。入賞者の中での最低身長は三段跳で6位になったヒンツエ（ドイツ）の171cmとな

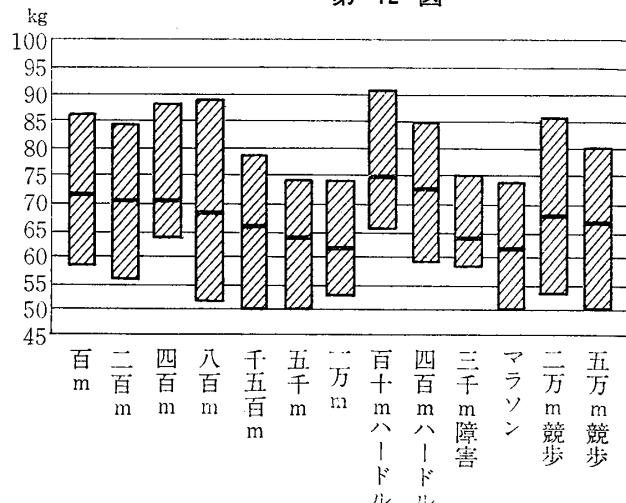
第18回東京オリンピック大会に参加した陸上競技選手についての一考察

第 11 図



(第17回ローマオリンピック大会の決勝出場の身長分布図型。横の太線は平均身長を示す)

第 12 図



(参加者全員の体重分布図型。横の太線は平均体重)

っている。この種目の平均も全体で一番低く、179cm代となっていた。

第11図は第17回ローマオリンピック大会の時の長距離および投てき競技の決勝に出場した選手の身長分布図型と平均身長（太い横線）をあらわしたものである。トラックとフィールドに分けてみて、はっきりと違いが認められる。

(3) 体重と競技種目

トラック競技

参加者全員を観察した場合にいえることは、中・長距離走者は体重が軽いということである。マラソンを含めて、最低が50kgであった。

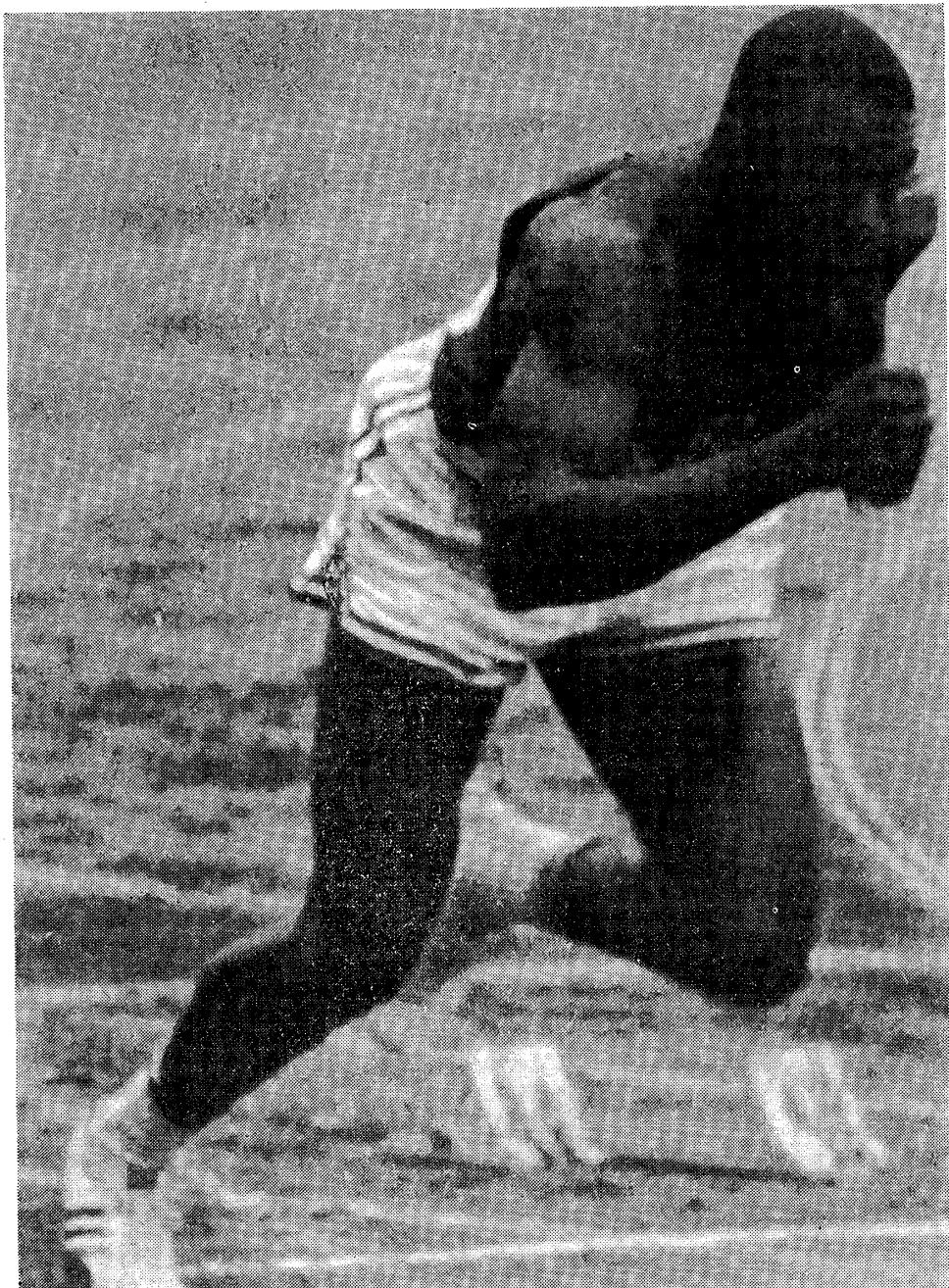
参加者の最高は110mハードルの91kgであった。概して第12図からいえることは、距離が長

第 13 図



(入賞者全員についての体重分布図型。横の太線は平均体重)

第 14 図



ヘイズ、100m優勝、21.10歳、183cm、86kg
(「The Spectacle of Tokyo Olympics 1964」ベースボール・マガジン社より)

くなるに従って体重が軽くなってゆくことである。平均体重をみた場合、110m ハードルが 75 kg で一番重く、次に 400m ハードル 73kg、次に 100m の 71kg となっていた。しかしながら、入賞者の場合、第13図でみると一番重い体重の持主は 110m ハードルで 2 位になったアメリカのリンドグレンで 91kg であり、一番軽かったのは日本の円谷で、54kg となっていた。

トラック競技全体の中で平均体重が一番重い種目は 110m ハードルで 79kg 代であり、次に 100

第18回東京オリンピック大会に参加した陸上競技選手についての一考察

第 15 図



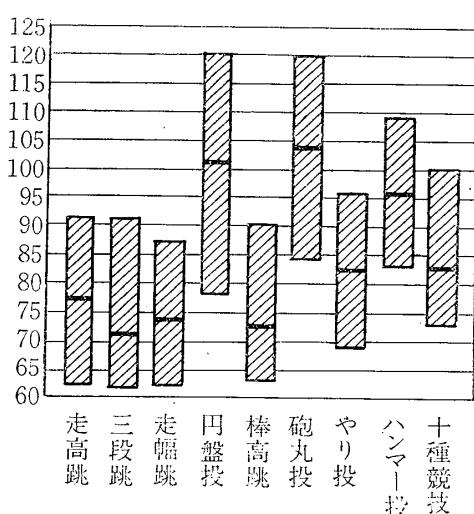
スネル、800m、1500m優勝
25.10歳、179cm、75.6kg
〔The Spectacle of Tokyo Olympics
1964〕ベースボール・マガジン社より)

mの 75kg 代となっていた。一番軽い種目はマラソンで 59.5kg 代となっていた。

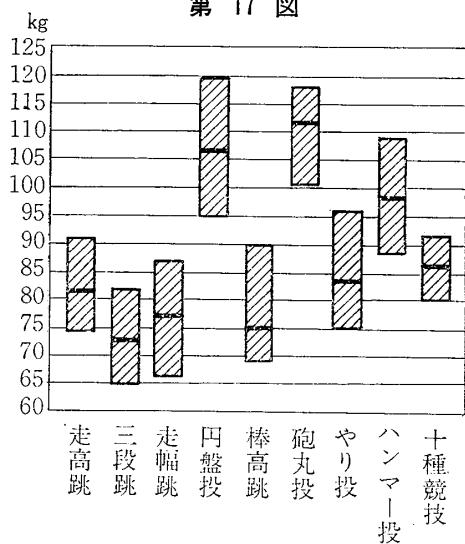
瞬間に爆発的エネルギーを費やしてしまうような種目にはやはり体重があることのほうが、ないことよりも機能的面に重要な役割を果していることが察せられる。この事実は100m 優勝者のヘイズ（アメリカ）の場合に、100m 参加者76名のうち一番重い86kg であったり、200m優勝のカー（アメリカ）の場合も、68名の最高で 84kg であった。また、400m 優勝のララビ（アメリカ）の場合にも同様なことがいえる。

中距離の場合も、以前抱かれていたような、軽い、ほっそりとしたような体型の持主の概念は、スネルの出現以来その先入観を改めることを余儀なくされている（第15図）。彼の場合、75.6kg で、800m の入賞者の平均が 72kg 代であり、また1500mでの平均が 70.2kg 代で入賞者全員の中では一番重い体重の持主であったからである。このことはスネルのコーチ、アーサー・リディアードが「中距離選手は外形によって判断されるものではない」といった言を如実に裏づけしているものであるといえよう。ハードル選手の体重が意外に重いのは、やはり瞬時にスピードを競うということからであろうが、長身の重いものといった方が適し

第 16 図



第 17 図



(参加者全員の体重分布図型。太線は平均体重) (入賞者全員の体重分布図型。太線は平均体重)

第18回東京オリンピック大会に参加した陸上競技選手についての一考察

ているといえよう。一方マラソンや3000m障害となると、全体からみるとやはりもっとも軽い方に属していることになる。

フィールド競技

先述の身長の場合に述べたように、体重の面においてもトラック競技と比較した場合に明ら

かな差異が認められることである。トラック競技において90kgを越す種目は110mハードルだけであったが、フィールド競技参加者の中で90kgに満たないものがいるところの種目は走幅跳だけであった（第16図）。

参加者の中で最低の体重は三段跳の61kgであり、最高は円盤投と砲丸投の120kgであった。平均体重の最低の種目は三段跳の71kg代であり、最高は砲丸投の104kg代であった。

この分野においても身長と同様に選手たちを国別にみた場合に体重の格差が認められることである。殊に、広い意味でのアジア地域の選手には全体の中で最低の体重の範囲に留まるものが多く、最高はやはり欧米から参加した選手に多かったことである。

第17回ローマオリンピック大会の決勝出場者の体重分布図型と平均体重（横の太線）

入賞者全員をみた場合、第17図でも判るように投てき種目と

跳躍種目との間に判然たる格差が認められたことである。

跳躍の場合、最高を91kgを限度とし、最低が65kgとなっている。それに較べて、投てきの場合、平均が100kgを境とする体重の持主ばかりであった。体重からみた場合、投てき競技では体重が身長と共に大きな要因をなしていることが十分に認識されるであろう。

第18図は第17回ローマオリンピック大会の時の決勝に出場した選手たちの体重分布図型と平均体重を示したものである。

先ほどの身長のところでも述べたように、今回の体重の場合にも言えることは、両者間の決定的差異は、形態学的必要条件において絶対に似ていないことを暗示している。このことは今回の東京大会の場合も全くそうであるといわねばならない。

過去10年間に投てき競技の進歩は著しく、例えば15m50台から20m台となっていることは周知の事実である。同時に競技者の身体もより形態的にまた力量のある身体になってきていることである。

2. 女 子

女子の競技種目、11種目の参加者総計は312名であった。男子と較べて種目数も半分であり、

第18回東京オリンピック大会に参加した陸上競技選手についての一考察

第 3 表

EVENT	N	Age			Height			Weight		
		MIN	MAX	M	MIN	MAX	M	MIN	MAX	M
100m	49	17.2	28.8	21.8	157.0	176.0	165.3	48.0	67.0	56.3
200m	45	17.9	31.11	21.9	159.0	176.0	166.7	48.0	70.0	57.0
400m	23	17.5	35.0	22.8	158.0	172.5	166.3	50.0	70.0	56.9
800m	27	17.8	36.0	23.4	159.0	178.0	167.9	48.0	67.0	56.9
80m H	32	20.1	30.8	23.5	158.7	184.0	168.3	48.0	74.0	60.0
走幅跳	32	16.0	27.11	22.5	154.0	180.0	167.6	45.0	73.0	58.3
走高跳	27	17.1	28.9	22.4	162.0	184.0	172.6	51.0	80.0	62.6
砲丸投	17	19.2	33.9	24.9	166.0	180.0	173.9	70.0	114.0	81.8
やり投	16	17.3	31.5	24.4	160.0	186.0	170.0	55.0	94.0	67.8
円盤投	22	17.9	35.6	25.8	166.0	183.0	174.1	62.0	100.0	76.6
五種競技	22	18.1	30.9	23.8	162.0	180.0	171.2	53.0	75.0	63.4

(女子参加者全員についての年齢・身長・体重)

第 4 表

EVENT	N	Age			Height			Weight		
		MIN	MAX	M	MIN	MAX	M	MIN	MAX	M
100m	6	18.0	22.10	19.9	161.0	173.0	168.2	52.0	61.0	57.7
200m	6	17.9	27.10	21.2	163.0	176.0	168.8	50.0	60.0	56.8
400m	6	22.7	31.11	25.7	159.0	169.0	166.2	56.0	59.5	58.0
800m	6	22.6	28.10	24.8	167.0	178.0	169.6	52.0	67.0	58.3
80m H	6	25.0	33.8	26.8	159.0	171.0	165.3	52.0	74.0	59.8
走幅跳	6	18.5	27.6	22.8	163.0	178.0	170.5	50.0	63.0	57.9
走高跳	6	21.0	28.9	25.2	171.0	184.0	176.8	55.0	72.0	66.0
砲丸投	6	23.4	33.9	26.7	168.0	180.0	174.3	74.0	100.0	84.2
やり投	6	17.3	31.5	26.3	164.2	186.0	171.5	64.0	94.0	73.7
円盤投	6	25.2	32.9	29.0	167.0	180.0	174.7	73.0	100.0	82.7
五種競技	6	24.8	30.8	26.3	167.0	172.0	169.5	59.5	74.0	64.7

(女子入賞者全員についての年齢・身長・体重)

男子と比較するということは妥当ではないかも知れぬが、男子と同様な方法で調査した。第3表は参加者全員についてみた場合の資料であり、第4表は入賞したものについての資料である。

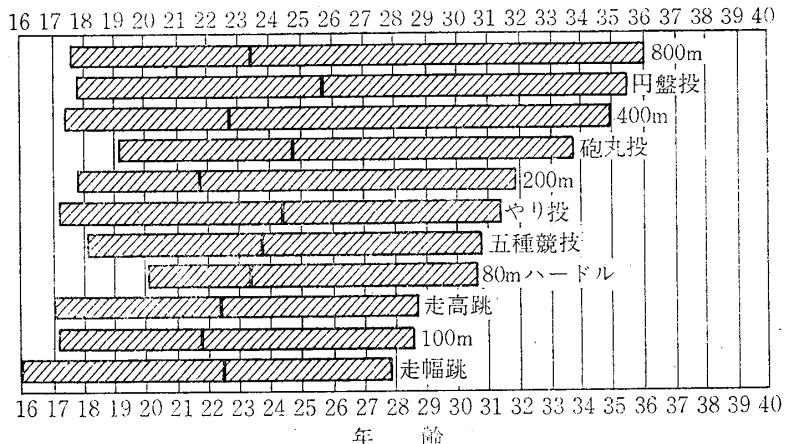
次にこれらの資料をもとに図形を作成したが、これも男子の場合と同様に最高、最低、平均といったものである。ただし女子の場合には、トラック競技とフィールド競技と一緒にした。

(1) 年齢と競技種目

参加者全員をみた場合に第19図によると、全体の中で最年少者は走幅跳に参加した16歳で、最年長者は800m参加の36歳となっていた。競技年齢の長い種目は800m及び円盤投で、短いのは80mハーダル、走高跳および100mといった種目になっていた。

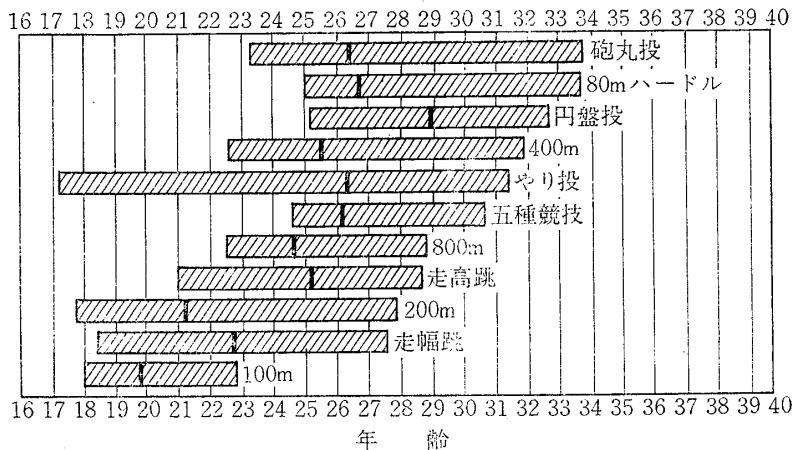
第18回東京オリンピック大会に参加した陸上競技選手についての一考察

第19図



〔参加者全員の年齢分布図型と平均年齢（縦の太線）〕

第20図



〔入賞者全員についての年齢分布図型と平均年齢（縦の太線）〕

このことは男子の場合の競歩やハンマー投といった種目の場合とやや似通っているように思われた。平均年齢が高い種目としては円盤投の25歳代であり、反対に短い種目は100mと200mの22歳代となっている。このことは男子の場合と似ている。

一般的にみて女子の場合、中距離と投てきが年齢的にみて比較的に高いということは、その年齢までやれることをものがたっている。

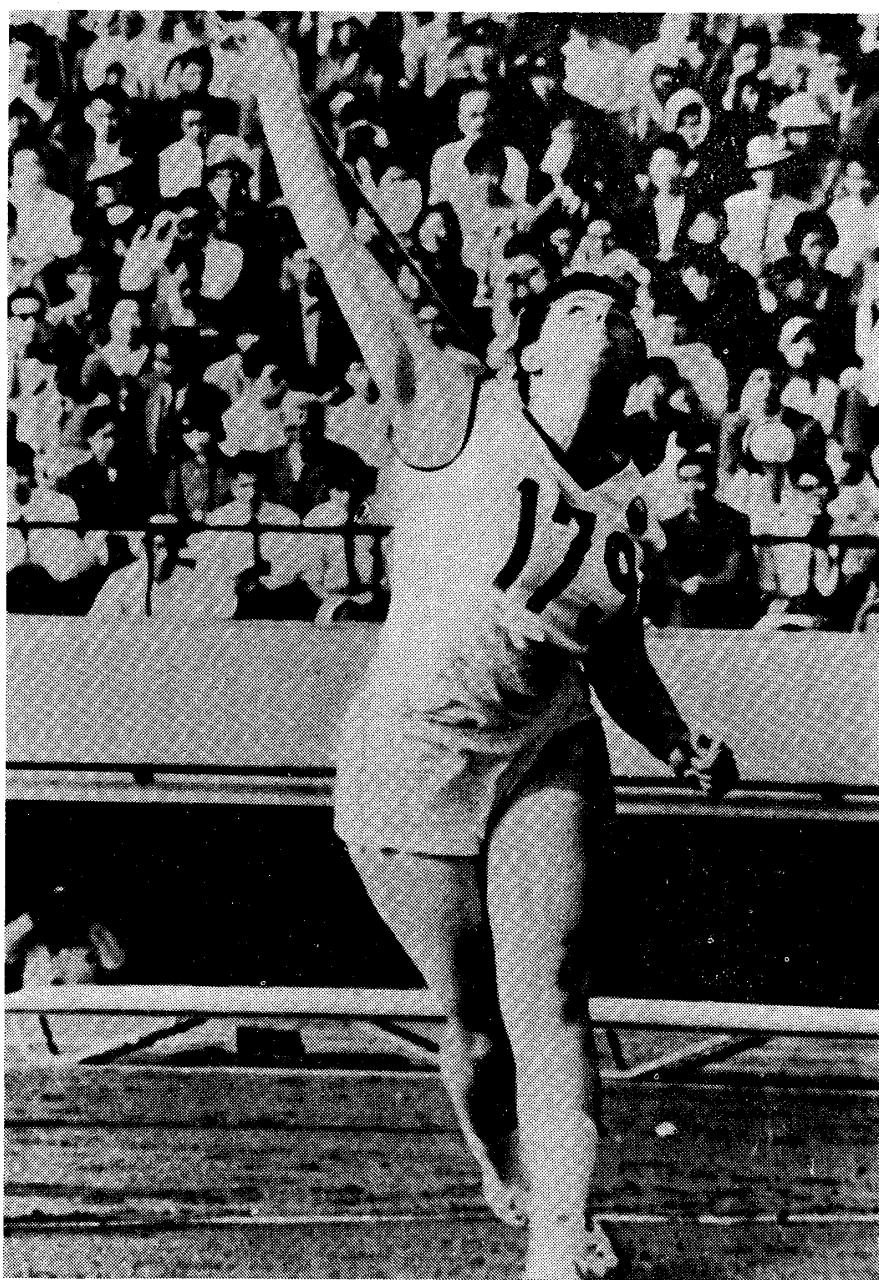
入賞者の年齢をみた場合にはいささか違ってくる。第20図でみると、最年長者は砲丸投と80mハードルに出場した33歳となっていた。

砲丸投で3位になったジビナ（ソビエト）は33.9歳であり、80mハードルで6位になったピアトコフスカ（ポーランド）は33.8歳であり、また円盤投で4位になったアンゲロワ（ブルガリア）は32.9歳であった。

一方、逆に最年少者はやり投で優勝したペネス（ルーマニア）で17.3歳であった（第21図）。

入賞者の年齢の拡がりが一番極限されているのは100mの4年という拡がりで、最年少が3

第 21 図



ペネス、やり投優勝、17.3歳、186cm、94kg
(「美と力 1964 Tokyo Olympics」読売新聞社、より)

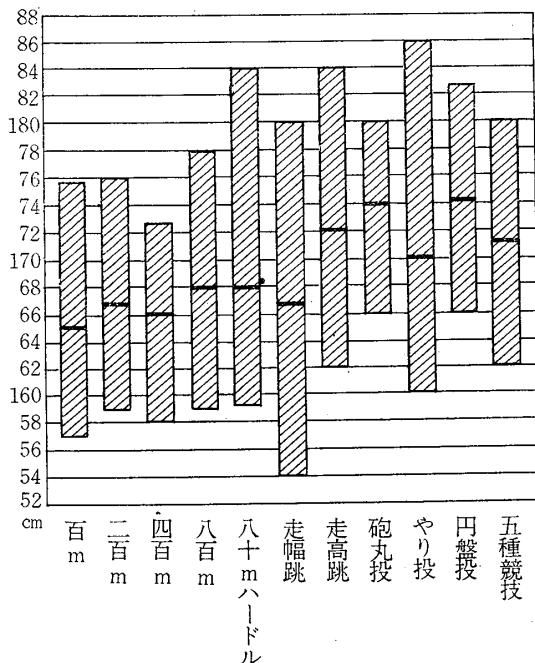
位になったクロブコフスカ（ポーランド）18歳で、最年長が5位になったコビアン（キューバ）で22.10歳であった。またこの種目の入賞者の平均年齢は全種目の中で一番低く、19.8歳代であった。逆に平均年齢の高い種目には円盤投があり、29歳代であった。

(2) 身長と競技種目

トラック競技とフィールド競技に分けて80mハードルをやるものと除き、フィールド競技をやるものに長身型の選手が多いことである。このことは参加者全員の中で身長が、走幅跳を除き総

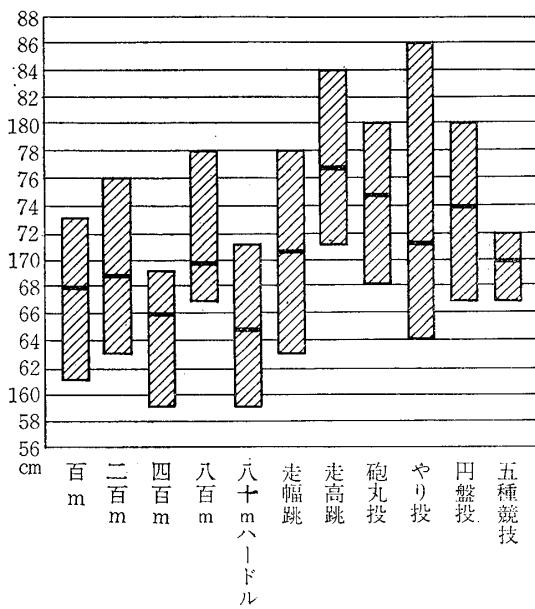
第18回東京オリンピック大会に参加した陸上競技選手についての一考察

第22図



〔参加者全員の身長分布図型と平均身長（横の太線）〕

第23図



〔入賞者全員の身長分布図型と平均身長（横の太線）〕

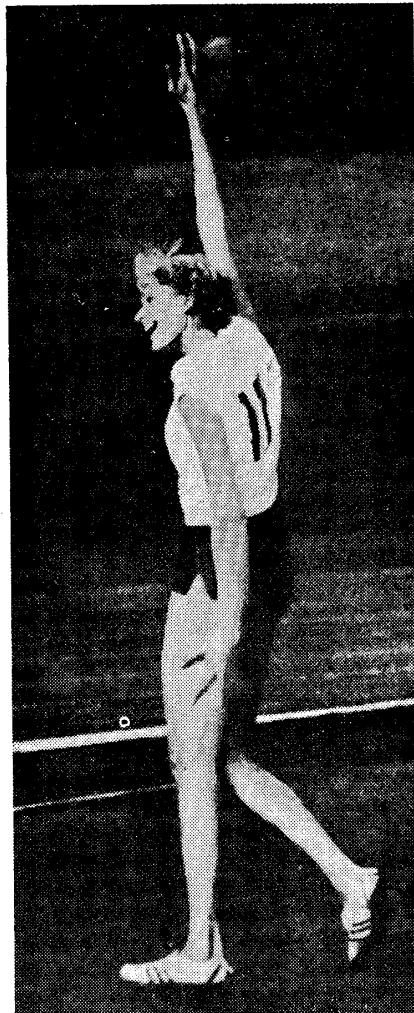
体的にみて高いことを示しているからである（第22図）。

また400mでは全体の中で一番低く、最高がモーリス（ジャマイカ）の172.5cmであった。

最低は走幅跳の岸本で154cmであり、最高はやり投げで優勝したペネス（第21図）186cmであった。

入賞者の場合、トラック競技とフィールド競技の選手ではその差がはっきりする。

第24図

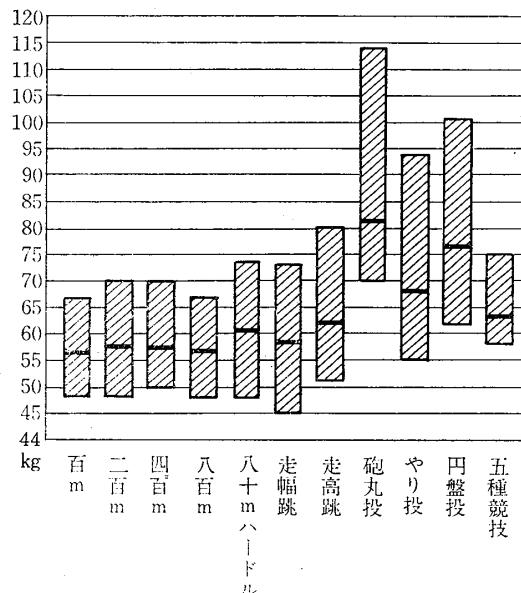


パラシュ、走高跳、優勝
27.10歳、184cm、72kg
(XVIII OLympiad Tokyo 1964)
朝日新聞社、より)

第18回東京オリンピック大会に参加した陸上競技選手についての一考察

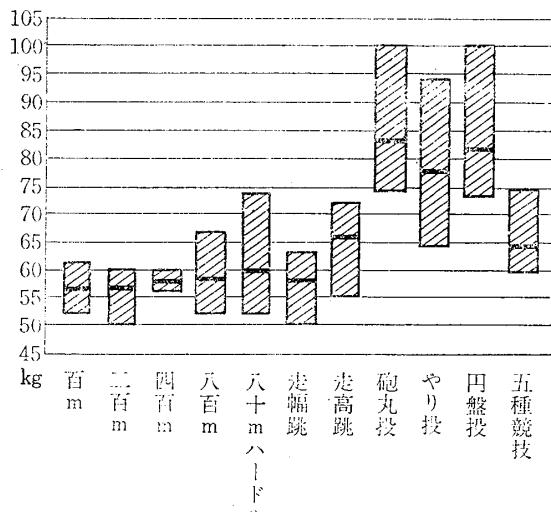
第23図でみると、最高はやり投げ優勝者のペネス (186cm) であり、最低は400m 3位のアムーラ (オーストラリア) の159cmと、80mハードル 3位のキルボーン (オーストラリア) の159cm

第 25 図



〔参加者全員の体重分布図型と平均体重(横の太線)〕

第 26 図



〔入賞者全員の体重分布図型と平均体重(横の太線)〕

また80mハードルでは、身長が全種目の中で一番低くかったにもかかわらず、体重ではトラック種目中一番重く、平均も一番高くなっていた。

投てき種目では平均が80kgを前後するといったところであり、最高は円盤投と砲丸投の両種目に優勝したT・プレス (ソビエト) の100kgであった(次頁第27図)。

トラック競技では、平均体重が全体を通じて一定化していることがわかるが、投てき競技では、男子の場合もそうであったが、ある一つの形態をなしていることが判然としていることであ

った。

平均身長の高いのは、種目の性格上からか走高跳の176.8cm代であった。ただ意外なのは、80mハードルの最高が優勝したバルツァー (ドイツ) の171cmで、平均が全体で一番低く165cm代となっていることであり、男子の場合にはハードルがトラック競技においては高いのに較べれば、やや奇異な感があった。トラック競技では800mが一番長身者揃いということであった。

(3) 体重と競技種目

総合的にみて、トラック競技者とフィールド競技者とでは明確な差異が認められたことである(第25図)。

参加者全員の中での最低は走幅跳の岸本45kgで、最高は砲丸投のE・ブラウン(アメリカ)の114kgであった。砲丸投は参加者全員の平均体重が81.8kgで全種目の中で最高で、平均体重の一番軽い種目は100mの56.3kgであった。

入賞者の場合、第26図でみられるように、トラック競技では800mと80mハードルを除き大体一定化していることがわかる。すなわち、体重50kgから60kgまでの間である。ま

第18回東京オリンピック大会に参加した陸上競技選手についての一考察

第 27 図



T. プレス, 砲丸投・円盤投優勝, 27.5歳, 180cm, 100kg
(「XVIII Olympiad Tokyo 1964」朝日新聞社, より)

ある。このことはトラック競技者とフィールド競技者が形態学的にみて絶対に似ていないことがある。

全体を通じてみても形態的観察においてあきらかに地域差があることである。このことは民族的相違によるものであろうが、一般にアジア地域における選手たちは劣り、ヨーロッパ、アメリカ地域の選手が秀れていることであった。

IV. 結論

以上のように、年齢、身長、体重及び記録といった観点から調査した場合に、次のようなことが考えられた。

冒頭にも述べたように、「より速く」「より高く」「より強く」のもとに日夜トレーニングに励み科学的トレーニングの上に立脚したコーチの方法をもって選手を育成することも、勿論重要なことではあるが、やはり記録は人間によって造られるものであるならば、主体性は人間そのものにおくべきである。

その場合に、すなわち形態面と機能面の二つの大きなものに分けられるが、種目によっては必ずしもそうでないとしても、一般的に形態面の優位があつてこそ、その上に力を発揮できるのではないであろうか。

以上述べてきた資料を客観的に観察した場合に、日本人の身体が世界の彼等と比較した時に、いかに貧弱であったかということであった。現実を直視した場合、徒らに目先の功にのみあせってもそれはただ、自己満足に過ぎず、極言すれば器のないものにそれだけの容量を要求するのは無理なことであり、限界があるといわねばなるまい。

その事は決して、一概に民族的宿命といったことで解決されるものでもない。

我々日本人が世界を相手に互して行くためには、まずそれだけの身体を持つことが第一であり、このことは何をおいても先決問題であることは何人も疑う余地はないであろう。その意味での「人づくり」をもってゆかぬことには、徒らに徒労に帰すばかりであろう。単に目先の記録に焦燥することなく、競技者の底辺の開拓に力をそそぐことが急務である。

男子競技種目資料表

第5表

100m			76	Data	Name	Nation	Best Performance
Age	全員	MIN	19.0	バーンビューラ	フーラントガルス	10.4 10.5 10.1	
	入賞者	MAX	29.2	{ロヘ	ボベルトナム	10.5 10.1	
	M	M	23.9				
Height	全員	MIN	165.0	ペンドダーズ	アメメリカ	10.2	
	入賞者	MAX	183.0	ヘイ	アメメリカ	10.0	
	M	M	174.6				
Weight	全員	MIN	58.0	ジョンソンズ	アメリカ	10.0	
	入賞者	MAX	86.0	ヘイ	アメメリカ	10.0	
	M	M	71.2				

第6表

200m			68	Data	Name	Nation	Best Performance
Age	全員	MIN	20.0	ジェガサテン	マレーラン	ヤン	20.8
	入賞者	MAX	34.0	シャハコ	ポーランド		
	M	M	24.3	シャド	アメリカ	力	20.2
Height	全員	MIN	21.11	カフオイク	アメリカ	力	20.8
	入賞者	MAX	31.0	マク	ポーランド	力	20.2
	M	M	24.8				
Weight	優勝	21.11	カ	アメリカ	アメリカ	力	20.2
	全員	MIN	164.0	チ	ベトナム	ム	
	入賞者	MAX	191.0	カ	アメリカ	力	20.2
Height	全員	MIN	172.0	カ	ポーランド	アメリカ	20.2
	入賞者	MAX	191.0	オイク	アメリカ	力	20.2
	M	M	179.8				
Weight	優勝	191.0	カ	アメリカ	アメリカ	力	20.2
	全員	MIN	55.0	チ	ベトナム	ム	
	入賞者	MAX	84.0	カ	アメリカ	力	20.2
Height	全員	MIN	70.3	チ	ベトナム	ム	
	入賞者	MAX	74.2	カ	アメリカ	力	20.2
	M	M					

第18回東京オリンピック大会に参加した陸上競技選手についての一考察

第7表

第8表

第18回東京オリンピック大会に参加した陸上競技選手についての一考察

400m		57	Data	Name	Nation	Best Performance
Age	全員	MIN MAX M	19.5 29.8 23.6	ハスミントローシル トローラ	フイリビンコ チエラ	49.2 —
	入賞者6	MIN MAX M	22.0 25.10 23.8	ウイリアムズ ラビア	アメリカ アメリカ	45.0 44.9
	優勝	25.10	ララ	アメリカ	アメリカ	44.9
Height	全員	MIN MAX M	168.0 189.0 178.0	{ジヨントスカーフ トメトスカーフ	リベリアイ ギリス	46.2 48.0 46.2
	入賞者	MIN MAX M	172.5 188.0 180.7	モブライトウェル トバコギ	トリニダード・ トバコギリス	46.1 46.0
	優勝	186.0	ララ	アメリカ	アメリカ	44.9
Weight	全員	MIN MAX M	63.0 88.0 70.4	バデンスキーサディーク ペキスタン	ボーランド パキスタン	45.7 48.0
	入賞者	MIN MAX M	63.0 77.0 71.5	バデンスキーララ ラビア	ボーランド アメリカ	45.7 44.9
	優勝	77.0	ララ	アメリカ	アメリカ	44.9

800m		50	Data	Name	Nation	Best Performance
Age	全員	MIN MAX M	20.1 29.11 24.3	S・マモ	エチオピア ソビエト	1.57.4 1.47.5
	入賞者6	MIN MAX M	20.9 27.0 24.3	フアレル	アメリカ ジマカカ	1.47.5 1.45.7
	優勝	25.10	スネル	ニュージャンド	1.45.1	
Height	全員	MIN MAX M	165.0 190.0 178.4	カューチンライネン	セイロン フィンランド	1.54.9 1.47.5
	入賞者	MIN MAX M	170.0 186.0 179.9	フアレル シーバード	アメリカ アメリカ	1.46.6 1.46.8
	優勝	179.0	スネル	ニュージャンド	1.45.1	
Weight	全員	MIN MAX M	51.5 89.0 68.6	カボカッキー	セイロング セイドイツ	1.54.9 1.47.7
	入賞者	MIN MAX M	69.0 77.0 72.0	クローバーズ	カナダ アメリカ	1.45.6 1.46.8
	優勝	75.6	スネル	ニュージャンド	1.45.1	

第 11 表

110mH			39	Data	Name	Nation	Best Performance
Age	全員	MIN	20.4	ダブンボート	アメリカ	13.6	
	全員	MAX	31.11	ラジーグ	ペキスタン	14.0	
	M	M	24.6				
Height	入賞者	MIN	20.4	オットツ	イタリ亞	13.7	
	入賞者	MAX	28.1	ミハイロフ	ソビエト	13.7	
	M	M	24.7				
Weight	優勝	26.2	ジヨンズ	アメリカ	13.4		
	全員	MIN	172.0	安田寛一郎	日本	14.2	
	全員	MAX	192.0	ベタシチアコフ	日本	14.0	
	入賞者	M	182.3			13.9	
	入賞者	MIN	178.0	ジヨンズ	アメリカ	13.4	
	入賞者	MAX	191.0	リンドグレン	アメリカ	13.6	
	優勝	178.0	ジヨンズ	アメリカ	13.4		
	全員	MIN	65.0	フォルサンデル	スウェーデン	13.9	
	全員	MAX	91.0	リンドグレン	アメリカ	13.6	
	入賞者	M	75.2				
	入賞者	MIN	72.0	グルバチャンシ	イングランド	14.0	
	入賞者	MAX	91.0	リンドグレン	アメリカ	13.6	
	優勝	73.0	ジヨンズ	アメリカ	13.4		

第 12 表

10000m			43	Data	Name	Nation	Best Performance
Age	全員	MIN	19.0	テバラバス	ムケルニマニア	アマニニア	28.30.3
	全員	MAX	36.10				29.35.0
	M	M	26.8				
Height	入賞者	MIN	24.5	円谷幸吉	吉オルデ	エチオピア	28.32.6
	入賞者	MAX	32.4	マモ・ウオルディ	日本	エチオピア	28.31.8
	M	M	27.0				
Weight	優勝	26.4	ミルズ	アメリカ	アメリカ	カナダ	28.24.4
	全員	MIN	161.0	アルデガレガ	ガルギア	ポルトガリ	30.37.8
	全員	MAX	183.0	{クリバント	トリニティ	オーストラリア	28.15.6
	入賞者	M	173.3				27.26.6
	入賞者	MIN	163.0	円谷幸吉	吉オルデ	ポルトガル	30.37.8
	入賞者	MAX	183.3	クリバント	トリニティ	オーストラリア	28.15.6
	優勝	180.0	ミルズ	アメリカ	アメリカ	カナダ	28.24.4
	全員	MIN	52.0	{アルデガレガ	ガルギア	ポルトガル	30.37.8
	全員	MAX	74.0	{クリバント	トリニティ	オーストラリア	29.10.4
	入賞者	M	61.9				28.15.6
	入賞者	MIN	54.0	円谷幸吉	吉オルデ	ポルトガル	30.37.8
	入賞者	MAX	74.0	クリバント	トリニティ	オーストラリア	28.15.6
	優勝	70.0	ミルズ	アメリカ	アメリカ	カナダ	28.24.4

第18回東京オリンピック大会に参加した陸上競技選手についての一考察

第13表

400mH		41	Data	Name	Nation	Best Performance
Age	全員	MIN MAX M	20.5 30.6 23.9	ツオミネン二 大串啓	フィンランンド 日本	50.4 51.2
	入賞者6	MIN MAX M	22.8 25.11 23.5	ノーク モラーレ タリア	オーストラリア オーストラリア オーストラリア	50.4 50.1
	優勝	24.3	コーリー	アメリカ	49.1	
	全員	MIN MAX M	165.0 190.0 180.6	セルバラトナム ノーケ	マレー・シヤ オーストラリア	52.8 50.4
	入賞者	MIN MAX M	175.0 190.0 183.2	フリノリ ノーケ	イタリア オーストラリア オーストラリア	49.6 50.4
	優勝	183.0	コーリー	アメリカ	49.1	
Weight	全員	MIN MAX M	58.5 85.0 73.0	ウオーデント ビンセント	イギリス イタリア	51.4 55.0
	入賞者	MIN MAX M	49.6 82.5 73.9	フリノリ クーパー	イタリア イギリス	49.6 50.1
	優勝	75.0	コーリー	アメリカ	49.1	
	全員	MIN MAX M	21.8 34.4 26.1	ドリシク シャヤ	ドイツ パキスタン	8.39.0 9.07.0
	入賞者6	MIN MAX M	24.0 28.8 26.8	オリベーラ ベリヤエフ	ポルトガル ソビエト	8.36.2 8.33.8
	優勝	27.8	ローランツ	ベルギー	8.30.8	

第14表

3000mSC		31	Data	Name	Nation	Best Performance
Age	全員	MIN MAX M	21.8 34.4 26.1	ドリシク シャヤ	ドイツ パキスタン	8.39.0 9.07.0
	入賞者6	MIN MAX M	24.0 28.8 26.8	オリベーラ ベリヤエフ	ポルトガル ソビエト	8.36.2 8.33.8
	優勝	27.8	ローランツ	ベルギー	8.30.8	
Height	全員	MIN MAX M	162.0 189.0 172.3	横溝三郎	日本	8.46.0 8.40.4
	入賞者	MIN MAX M	166.0 178.0 172.7	テクスロー ヘリオット	フライス ギリス	8.35.2 8.32.4
	優勝	174.0	ローランツ	ベルギー	8.30.8	
Weight	全員	MIN MAX M	53.0 75.0 63.2	奥沢善二 フィッシュルチック アーランド	日本 オランダ リカ	8.45.4 8.45.6 8.40.4
	入賞者	MIN MAX M	56.0 68.0 62.0	テクスロー ヤング アメーリカ	フライス ギリス アメリカ	8.35.2 8.38.2
	優勝	58.0	ローランツ	ベルギー	8.30.8	

第 15 表

第 16 表

第18回東京オリンピック大会に参加した陸上競技選手についての一考察

マラソン				74	Data	Name	Nation	Best Performance
Age	全員	MIN MAX M	19 36.9 28.0	チユ ー サ	ム フ	ケニ スキ	タ ン	ア ン 2.31.00.0
	入賞者6	MIN MAX M	24.5 32.2 27.7	円 ア M	谷 ベ M	幸 チ オ	吉 ビ ア	本 ア 2.16.22.8 2.12.11.2
	優勝	32.2	ア	ベ	ベ	エチ オ	ピア	2.12.11.2
Height	全員	MIN MAX M	160.0 183.0 170.6	[カ ク ク]	[N・V・リ ラ ラ]	ゾ ー ク	ダ ー ク	ロート ースト ラリア ム リア ー
	入賞者	MIN MAX M	163.0 178.0 172.3	円 エ M	谷 デ ア	幸 レ ン	吉 ア ン	本 リ カ 2.16.22.8 2.14.28.0
	優勝	177.0	ア	ベ	ベ	エチ オ	ピア	2.12.11.2
Weight	全員	MIN MAX M	50.0 74.0 60.7	N・V・リ ク ク	ー ー ク	ベ オース ト	トナ ラ ム	ム リア ー 2.24.38.0
	入賞者	MIN MAX M	54.0 64.0 59.5	円 エ M	谷 デ ア	幸 レ ン	吉 ア ン	本 リ カ 2.16.22.8 2.14.28.0
	優勝	61.0	ア	ベ	ベ	エチ オ	ピア	2.12.11.2

20000m競歩				34	Data	Name	Nation	Best Performance
Age	全員	MIN MAX M	21.1 45.1 28.7	パ リュ ー ン グ レ ン ス	デ シ ク	イ ギ リ ス	ス ウェ ー デ ン	1.36.46.0 1.33.06.6
	入賞者6	MIN MAX M	25.5 30.4 27.5	ジ マ シ ュ ー ズ	メ シ ュ ー ズ	ア メ リ カ	イ ギ リ ス	1.32.43.0 1.28.15.0
	優勝	30.4	マ シ ュ ー ズ	イ ギ リ ス	イ ギ リ ス	イ ギ リ ス	イ ギ リ ス	1.28.15.0
Height	全員	MIN MAX M	164.0 187.0 176.5	[栗 内 シ ュ ペ リ リ ン グ]	林 藤 靖 雄 日 本 イ ツ	右 衛 門 日 本 イ ツ	右 衛 門 日 本 イ ツ	1.38.12.4 1.37.04.8 1.31.17.0
	入賞者	MIN MAX M	174.0 185.0 179.8	リ ン ト ナ ー マ シ ュ ー ズ	ント ナ ー ド イ ギ リ ス	ド イ ギ リ ス	ド イ ギ リ ス	1.29.46.8 1.28.15.0
	優勝	185.0	マ シ ュ ー ズ	イ ギ リ ス	イ ギ リ ス	イ ギ リ ス	イ ギ リ ス	1.28.15.0
Weight	全員	MIN MAX M	53.0 85.3 67.6	内 藤 靖 雄 日 本 ダ	藤 靖 雄 カ ナ ダ	右 衛 門 日 本 ダ	右 衛 門 日 本 ダ	1.37.04.8 1.36.59.0
	入賞者	MIN MAX M	66.0 85.3 72.1	リ ン ト ナ ー ゴ ル ブ ニ チ ュ イ	ント ナ ー ド イ ギ リ ス	ド イ ギ リ ス	ド イ ギ リ ス	1.29.46.8 1.30.17.2
	優勝	73.5	マ シ ュ ー ズ	イ ギ リ ス	イ ギ リ ス	イ ギ リ ス	イ ギ リ ス	1.28.15.0

第18回東京オリンピック大会に参加した陸上競技選手についての一考察

第18表

5000m 競歩				37	Data	Name	Nation	Best Performance
全員	MIN	22.4	斎藤和夫	日本	4.35.55.0			
	MAX	45.1	リュングレン	スウェーデン	4.25.34.0			
Age 入賞者	MIN	23.8	ペーネチ	ドイタリア	4.17.41.6			
6	MAX	31.0	ミツチ	ドイタリア	4.08.30.0			
	M	28.2						
優勝	31.0	パミツチ	イタリア	4.08.30.0				
全員	MIN	161.0	ハビシ	ハシガリト	4.16.40.0			
	MAX	186.0	リュンギン	ソビエト	4.22.29.4			
Height 入賞者	MIN	169.0	ガードナーチ	オーストラリア	4.17.06.8			
6	MAX	183.0	{ロイシユケ	オイドタイ	4.08.30.0			
	M	175.8			4.15.26.8			
優勝	183.0	パミツチ	イタリア	4.08.30.0				
全員	MIN	50.0	ゴクロフオード	ハシガリト	4.19.40.0			
	MAX	80.0		オーストラリア	4.41.00.0			
Weight 入賞者	MIN	64.0	{ペテルソウ	イギリス	4.11.31.2			
6	MAX	74.0	バミツチ	スウェーデン	4.14.17.4			
	M	65.3		アリヤ	4.08.30.0			
優勝	74.0	パミツチ	イタリア	4.08.30.0				

走高跳				27	Data	Name	Nation	Best Performance
全員	MIN	19.4	ガリ	ガ	スベイント	ソビエト	2.06	
	MAX	31.6	シャフラカラゼ	ソビエト			2.17	
Age 入賞者	MIN	20.1	ドレコール	ドイツ	ソビエト	ソビエト	2.09	
7	MAX	31.6	シャフラカラゼ	ソビエト			2.17	
	M	24.0						
優勝	22.6	ブルメル	ソビエト	ソビエト	ソビエト	ソビエト	2.24	
全員	MIN	175.0	宮崎欣也	日本	アメリカ	日本	2.06	
	MAX	201.0	ラシボボ	日本	アメリカ	日本	2.17	
Height 入賞者	MIN	185.8	ラーンボー	ソビエト	アメリカ	ソビエト	2.24	
8	MAX	201.0	ラーンボー	ソビエト	アメリカ	ソビエト	2.17	
	M	188.9						
優勝	184.0	ブルメル	ソビエト	ソビエト	ソビエト	ソビエト	2.24	
全員	MIN	62.0	宮崎欣也	日本	アメリカ	日本	2.06	
	MAX	91.0	ラシボボ	日本	アメリカ	日本	2.17	
Weight 入賞者	MIN	74.0	ペテルソン	スウェーデン	アメリカ	スウェーデン	2.14	
9	MAX	91.0	ラシボボ	アメリカ	アメリカ	アメリカ	2.17	
	M	81.9						
優勝	75.0	ブルメル	ソビエト	ソビエト	ソビエト	ソビエト	2.24	

第20表

三段跳		33	Data	Name	Nation	Best Performance
全員	MIN	20.11	ソーンダーズ	バハ	マ	—
	MAX	32.1	ミンチュ	ホンコ	ン	14.08
	M	26.0				
Age	入賞者	MIN	23.5	クラフチエンコ	ソビエト	16.57
		MAX	31.9	ビンツェエ	ツ	16.25
		M	27.0			
	優勝	29.7	シユミット	ポーランド	ド	16.85
	全員	MIN	165.0	ホアンジョンデ	韓国	15.16
		MAX	193.0	フラーク	アメリカ	16.10
		M	179.1			
Height	入賞者	MIN	171.0	ヒンツェエ	ド	16.25
		MAX	185.0	オリソウ	イ	16.46
		M	179.1			
	優勝	183.0	シユミット	ポーランド	ド	16.85
	全員	MIN	61.0	ホアンジョンデ	韓国	15.16
		MAX	91.0	フラーク	アメリカ	16.10
		M	71.43			
Weight	入賞者	MIN	65.0	クラフチエンコ	ソビエト	16.57
		MAX	82.0	フェドセーエフ	ソ	16.58
		M	73.0			
	優勝	76.0	シユミット	ポーランド	ド	16.85

第19表

走幅跳		37	Data	Name	Nation	Best Performance
全員	MIN	20.10	D・クルス	ブルートリコ	7.30	
	MAX	37.1	バデア	マニア	7.21	
	M	24.8				
Age	入賞者	MIN	22.2	ワリボコ	ナイジェリア	7.64
		MAX	26.5	テルオバネシアン	ソビエト	8.18
		M	23.7			
	優勝	22.5	デービス	イギリス	8.07	
	全員	MIN	169.0	チューミン	ホンコ	7.15
		MAX	191.0	シニック	アメリカ	8.01
		M	180.7			
Height	入賞者	MIN	175.4	ワリボコ	ナイジェリア	7.64
		MAX	190.0	コシャール	フランス	7.82
		M	184.4			
	優勝	189.0	デービス	イギリス	8.07	
	全員	MIN	62.0	カマナル	ウガニア	—
		MAX	87.0	コシャール	フランス	7.82
		M	73.6			
Weight	入賞者	MIN	66.2	ワリボコ	ナイジェリア	7.64
		MAX	87.0	コシャール	フランス	7.82
		M	76.9			
	優勝	87.0	デービス	イギリス	8.07	

第 21 表

棒高跳		31	Data	Name	Nation	Best Performance
Age	全員	MIN MAX M	20.8 32.3 24.8	ソロイスガード ブリズネツオフ	スベイソ ドエイソ	4.60 5.15
	入賞者	MIN MAX M	21.5 32.3 25.3	ライシハルト ブロイスガード	ドエイソ ドエイソ	5.05 5.15
Height	優勝	23.10	ハシセソ	アメリカ	5.28	
	全員	MIN MAX M	163.0 190.0 179.7	モブリズネツオフ	カナビエト	4.74 4.95
Weight	入賞者	MIN MAX M	178.0 190.0 182.2	{ブロイスガード トマシエオフ ブリズネツオフ	ドエイソ チソ ドエイソ	5.15 5.00 4.95
	優勝	183.0	ハシセソ	アメリカ	5.28	
Weight	全員	MIN MAX M	63.0 90.0 72.8	大坪政士 ブリズネツオフ	日本 ソビエト	4.70 4.05
	入賞者	MIN MAX M	69.0 90.0 75.7	ライシハルト ブリズネツオフ	ドエイソ ソビエト	5.05 4.95
優勝		75.0	ハシセソ	アメリカ	5.28	

第 22 表

円盤投		30	Data	Name	Nation	Best Performance
Age	全員	MIN MAX M	20.5 34.0 27.3	レイノサボ	ブルトリコ ファントランド	53.04 59.44
	入賞者	MIN MAX M	23.0 32.0 27.5	ウエイニ セチエニ	アルメリカ ハンガリー	61.01 58.82
Height	優勝	28.1	オータム	アメリカ	62.94	
	全員	MIN MAX M	170.0 201.0 188.6	キムビヨンギル	韓国 アメリカ	48.24 61.01
Weight	入賞者	MIN MAX M	184.0 201.0 193.3	セチエニ ウエイニ	アルメリカ ハンガリー	58.82 61.01
	優勝	193.0	オータム	アメリカ	62.94	
Height	全員	MIN MAX M	78.0 120.0 101.5	金子エルミ	平日 アメージャンド	51.28 61.01
	入賞者	MIN MAX M	95.0 120.0 106.5	ヘルゲ ウエイ	ブルボーラン アルメリカ	59.94 61.01
優勝		118.0	オータム	アメリカ	62.94	

第 23 表

砲丸投	25	Data	Name	Nation	Best Performance
Age	全員	MIN 19.7 MAX 32.9 M 26.0	マトソン オブライエン	アメリカ	20.20 19.25
	入賞者6	MIN 19.7 MAX 32.9 M 25.5	マトソン オブライエン	アメリカ	20.20 19.25
	優勝	24.4	ロング	アメリカ	20.68
Height	全員	MIN 178.0 MAX 204.0 M 189.0	糸川照雄 ビルレンハバッハ	日本 ドイツ	16.23 18.70
	入賞者	MIN 180.0 MAX 200.0 M 189.5	ナマトソン	ハンガリー アメリカ	18.88 20.20
	優勝	193.0	ロング	アメリカ	20.68
Weight	全員	MIN 84.0 MAX 120.0 M 104.3	パラナウスカス ソスゴルーク	ソビエト ボーランド	18.85 18.88
	入賞者	MIN 100.0 MAX 118.0 M 110.5	ナンソン	ハンガリー アメリカ	18.88 20.68
	優勝	118.0	ロング	アメリカ	20.68

第 24 表

やり投	27	Data	Name	Nation	Best Performance
Age	全員	MIN 20.5 MAX 33.6 M 24.7	ヘドマルク V・グズネット	スウェーデン ノルウェー	80.38 82.63
	入賞者6	MIN 22.10 MAX 31.4 M 26.5	キヌネードロ	フィンランド ポーランド	84.63 85.03
	優勝	24.0	ネバラ	フィンランド	82.66
Height	全員	MIN 170.0 MAX 193.0 M 183.2	エチエベリ ヘドマルク	チエベリ スウェーデン	73.18 80.38
	入賞者	MIN 175.0 MAX 187.0 M 181.0	キヌネルドブルク	フィンランド スイス	84.63 78.72
	優勝	178.0	ネバラ	フィンランド	82.66
Weight	全員	MIN 68.5 MAX 96.0 M 83.7	ナシヤタル フオシワルドブルク	マレーシア スイス	65.84 78.72
	入賞者	MIN 75.0 MAX 96.0 M 83.7	キヌネルドブルク	フィンランド スイス	84.63 78.72
	優勝	80.0	ネバラ	フィンランド	82.66

第 25 表

ハンマー投		25	Data	Name	Nation	Best Performance
Age	全員	MIN 19.6 MAX 42.1 M 28.8	バムラ イエフア ルマニア	ド ル ド ル ソ ム	イ マ イ エ ビ ビ	ツ ツ ツ ト ト ト
	入賞者	MIN 19.6 MAX 33.9 M 28.2	バク イクリ ン	ド ル ソ ム	イ エ ビ エ	ツ ト ツ ト
	優勝	31.5	ク リ ム	ソ ビ エ ト	ト ト ト ト	69.74
Height	全員	MIN 177.0 MAX 191.0 M 182.7	笠原 木口 平	章 登 登	日本 日 日本 ド アイ ル ラ ンド	65.01 65.63 66.14 63.63
	入賞者	MIN 178.0 MAX 190.0 M 184.2	ニク リシ ボツ キ	ソ ビ ハ ン ガ リ 一	エ エ ガ リ ト ト ト	68.37 70.42
	優勝	187.0	クリ ム	ソ ビ エ ト	ト ト ト ト	69.74
Weight	全員	MIN 83.0 MAX 109.0 M 96.1	笠原 コノ 平	章 リ ア メ リ カ	日本 ア メリ カ	65.01 68.68
	入賞者	MIN 88.0 MAX 109.0 M 99.0	バコ ノリ イ	ド ア メ リ イ カ	ツ カ リ カ ツ カ	68.09 68.68
	優勝	103.0	クリ ム	ソ ビ エ ト	ト ト ト ト	69.74

第 26 表

十種競技		22	Data	Name	Nation	Best Performance
Age	全員	MIN 21.6 MAX 31.1 M 25.6	モ ラ・ク ズネ ツオ フ	ロ ソ ビ テ テ 広	カ ナ ビ エ ド イ	ダ ト ト ト 合 ツ 湾
	入賞者	MIN 22.4 MAX 31.3 M 24.7	ワ 楊 伝	ル デ 廣	ド イ ド イ	ツ ツ ツ 湾
	優勝	24.8	ホル ドル フ	ド ド ド ド	ル ド ル フ	ツ ツ ツ ツ
Height	全員	MIN 163.0 MAX 196.0 M 183.6	モ バイ エ ル	ロ バ イ エ ル	カ ド イ ド ル	ダ ツ ツ ツ ツ
	入賞者	MIN 182.0 MAX 196.0 M 188.2	ホル バイ エ ル	ド バ イ エ ル	ド ド イ ド ル	7023 8026
	優勝	182.0	ホル ドル フ	ド ド ド ド	ル ド ル フ	ツ ツ ツ ツ
Weight	全員	MIN 73.0 MAX 100.0 M 83.6	鈴木 ホ ツ	章 ホ ツ	介 デ ア	本 ア メリ カ
	入賞者	MIN 80.0 MAX 92.0 M 85.7	ハ バ イ	マ エ ル	ア ド ミ リ カ	7701 8026
	優勝	90.0	ホル ドル フ	ド ド ド ド	ル ド ル フ	ツ ツ ツ ツ

女子競技資料表

第 27 表

	100m	49	Data	Name	Nation	Best Performance
Age	全員	MIN 17.2 MAX 28.2 M 21.8	ゲガイード クロブコフスカ コビアン	ソーダ ポーランド キューバ	フランエスト ポーランド アメリカ	11.7 11.6 11.3
	入賞者6	MIN 18.0 MAX 22.10 M 19.8	タイニアス ダニエル	アメリカ ニュージーランド	ソーナ マヌラ	11.3 10.6(Y)
	優勝	MIN 19.2 MAX 157.0 M 165.3	タイニアス ダニエル ポータートー	アメリカ ハボニア ニュージーランド	アメリカ アメリカ アメリカ	11.3 11.5 10.4(Y)
Height	全員	MIN 161.0 MAX 173.0 M 168.2	ホワイイト マガイア マ	アメリカ アメリカ アメリカ	モテワ ボーランド キシエンヌティン	10.4(Y) 11.3 11.3
	入賞者	MIN 170.0 MAX 173.0 M 168.2	タイニアス ダニエル ポータートー	アメリカ ハボニア マヌラ	モテワ ボーランド キシエンヌティン	10.4(Y) 10.6(Y) 10.4(Y)
	優勝	MIN 170.0 MAX 173.0 M 168.2	タイニアス ダニエル ポータートー	アメリカ ハボニア マヌラ	モテワ ボーランド キシエンヌティン	10.4(Y) 10.6(Y) 10.4(Y)
Weight	全員	MIN 48.0 MAX 67.0 M 56.3	ラトナム オルメ	セイロ アルゼンチン	モテワ ボーランド キシエンヌティン	12.4 10.6(Y) 10.4(Y)
	入賞者	MIN 52.0 MAX 61.0 M 57.7	ホワイイト タイニアス アメリカ	アメリカ アメリカ アメリカ	モテワ ボーランド キシエンヌティン	11.3 11.3 11.3
	優勝	MIN 61.0 MAX 61.0 M 57.7	タイニアス タイニアス アメリカ	アメリカ アメリカ アメリカ	モテワ ボーランド キシエンヌティン	11.3 11.3 11.3

第 28 表

	200m	45	Data	Name	Nation	Best Performance
Age	全員	MIN 17.9 MAX 31.11 M 21.9	モートキ ソボタ	リス タク	ジヤマイカ ジヤーランド	23.5 23.6
	入賞者	MIN 17.9 MAX 27.10 M 21.2	ソボタ	リス タク	ジヤマイカ ジヤーランド	23.5 23.6
	優勝	20.4	マガイヤー	アメリカ	アメリカ	23.0
Height	全員	MIN 159.0 MAX 176.0 M 166.7	イエチュイメイ キシエンヌティン	モテワ ボーランド	白ユーランド 白ユーランド	27.0 24.0 23.1
	入賞者	MIN 163.0 MAX 176.0 M 168.8	ソモテワ キシエンヌティン	モテワ ボーランド	モテワ ボーランド	23.6 23.6 23.6
	優勝	173.0	マガイヤー	アメリカ	アメリカ	23.0
Weight	全員	MIN 48.0 MAX 70.0 M 56.9	ラトナム ハイネ	モテワ ボーランド	セイロ セドアイ	26.6 23.8
	入賞者	MIN 50.0 MAX 60.0 M 56.8	モテワ キシエンヌティン	モテワ ボーランド	モテワ ボーランド	23.6 23.1
	優勝	59.0	マガイヤー	アメリカ	アメリカ	23.0

第29表 第30表

400m		23	Data	Name	Nation	Best Performance
Age	全員	MIN 17.5 MAX 35.0 M 22.8	スカイ	ミスル	アメリカ アイルラン	54.6 54.6
	入賞者6	MIN 22.7 MAX 31.11 M 25.7	ハイトキ	カナト	イギリス エトナ	52.2 53.0
Height	優勝	26.6	カスバート	オーストラリア	52.0	
	入賞者	MIN 158.0 MAX 172.5 M 166.3	スモーリ	ザジヤマ	メイカ	58.1 —
Weight	優勝	159.0	アムバート	オーストラリア	53.4	
	入賞者	MIN 169.0 MAX 166.2 M 166.2	カッカ	オオオイアス	52.0 52.2	
800m	優勝	169.0	カスバート	オーストラリア	52.0	
	入賞者	MIN 50.0 MAX 70.0 M 56.9	チャラブ	川清子	日本 タラソ	56.8 1.023 54.9
Age	優勝	57.0	カスバート	オーストラリア	52.0	
	入賞者	MIN 56.0 MAX 59.5 M 58.0	アムフル	アムフルズワ	オーストラリア ニュージラン	53.4 54.8

		800m	27	Data	Name	Nation	Best Performance
Age	全員	MIN 36.0 MAX 36.0 M 23.4	ホカラ	マイル	カナル	アイルラン	ダード 2.11.2 ドンド 2.10.5
	入賞者6	MIN 22.6 MAX 28.10 M 24.9	エリチエ	シバレン	ソビエト	ニュージラン	トト 2.04.1 ンド 2.02.8
Height	優勝	22.7	パッカード	イギリス	イギリス	アイルラン	ド 2.10.5 ド 2.03.9
	入賞者	MIN 159.0 MAX 178.0 M 167.9	カグライヒ	ボルト	アイルラン	ド 1.ツ 2.01.1	ツ 2.01.1
Weight	優勝	169.0	{デュビュリユエ サエラ	ヨウ	フラン	ハニガリ	ス 2.01.9 ト 2.04.1 ツ 2.03.9
	入賞者	MIN 167.0 MAX 178.0 M 169.7	ボグライヒ	クルト	ハニガリ	エイド 1.ツ 2.01.1	ツ 2.01.1

第31表

	80mH	32	Data	Name	Nation	Best Performance
Age	全員	MIN 20.1 MAX 30.8 M 23.5	ム ブイストロワ	ガ ビエト	ダ ンエト	11.4 10.6
	入賞者6	MIN 25.0 MAX 33.8 M 26.8	I・ブレス ピアトコフスカ	ソ ボーラン	エ ンド	10.7 10.7
	優勝	26.4	バルツァー	ド イ	ツ	10.5
Height	全員	MIN 158.7 MAX 184.0 M 168.3	ム シェラード	ガ ベル	ン ドリカ	11.4 10.8
	入賞者	MIN 159.0 MAX 171.0 M 165.3	キルボーン バルツァー	オーストラリア ド	リ ツ	10.5 10.5
	優勝	171.0	バルツァー	ド イ	ツ	10.5
Weight	全員	MIN 48.0 MAX 74.0 M 60.0	ラ ト レ ス	ナ ム ソ ビ	ロ ン エ ト	12.3 10.5
	入賞者	MIN 52.0 MAX 74.0 M 59.8	キルボーン I・ブレス	オーストラリア ソ ビ	エ ト	10.5 10.5
	優勝	60.0	バルツァー	ド イ	ツ	10.5

第32表

	走幅跳	32	Data	Name	Nation	Best Performance
Age	全員	MIN 16.0 MAX 27.11 M 22.5	ア チ ュ イ ム	ナ コ ム	ガ ソ ム	5.56 6.49
	入賞者6	MIN 18.5 MAX 27.6 M 22.8	キシエントステイン シチエルカノワ	ソ ビ	一 ラ ンド	6.60 6.70
	優勝	24.8	ラ ン ド	イ ギ リ ス	イ ギ リ ス	6.76
Height	全員	MIN 154.0 MAX 180.0 M 167.6	岸 カウフマナス	本 幸 子	日 アルゼンチン	6.07 —
	入賞者	MIN 163.0 MAX 178.0 M 170.5	ヨルゴ ベッカ カーヴ	ド イ ツ	ブルガリア ド イ ツ	6.29 6.40
	優勝	172.0	ラン ド	イ ギ リ ス	ブルガリア ド イ ツ	6.76
Weight	全員	MIN 45.0 MAX 73.0 M 58.3	岸 カウフマナス	本 幸 子	日 アルゼンチン	6.07 —
	入賞者	MIN 50.0 MAX 63.0 M 57.9	ビスコポリアス ベッカ ード	ル マニア ド イ ツ	本 ギ リ ス	6.46 6.40
	優勝	59.5	ラン ド	イ ギ リ ス	イ ギ リ ス	6.76

第18回東京オリンピック大会に参加した陸上競技選手についての一考察

第33表

走高跳	27	Data	Name	Nation	Best Performance
Age	全員	MIN 17.1 MAX 28.9 M 22.4	T・ブランチク チエンチク	アメリカ ソビエト	1.70 1.78
	入賞者6	MIN 21.0 MAX 28.9 M 25.2	ゲレンイス チエンチク	ナビエト ソビエト	1.75 1.78
	優勝	27.10	バラシユ	ルーマニア	1.90
Height	全員	MIN 162.0 MAX 184.0 M 172.6	{リーナトマセク バイルー・マニア	タマニン ソビエト	1.50 1.90
	入賞者	MIN 171.0 MAX 184.0 M 176.8	ブルラシユ	オーストラリア ルーマニア	1.80 1.90
	優勝	184.0	バラシユ	ルーマニア	1.90
Weight	全員	MIN 51.0 MAX 80.0 M 62.6	ビアトマク リューガー	イタリア ドライツ	1.80 1.76
	入賞者	MIN 55.0 MAX 72.0 M 66.0	ブルラシユ	オーストラリア ルーマニア	1.80 1.90
	優勝	72.0	バラシユ	ルーマニア	1.90

第34表

砲丸投	17	Data	Name	Nation	Best Performance
Age	全員	MIN 19.2 MAX 33.9 M 24.9	デベルコフ ジビナ	イタリア ソビエト	17.50
	入賞者	MIN 23.4 MAX 33.9 M 26.7	ヘルムボルト ジビナ	ドイツ ソビエト	17.54 17.50
	優勝	27.5	T・プロレス	ソビエト	18.40
Height	全員	MIN 166.0 MAX 180.0 M 173.9	{サラジヤ ゲベルコフ	ルーマニア ソビエト	16.53 18.40
	入賞者	MIN 168.0 MAX 180.0 M 174.3	{ジ・プロレス ソ・パンヤ	ソビエト ソビエト	17.50 17.21
	優勝	180.0	T・プロレス	ソビエト	17.26
Weight	全員	MIN 70.0 MAX 114.0 M 81.8	{ピータルコフ エ・プラヴァン	イギリス ソ連	15.00 14.98
	入賞者	MIN 74.0 MAX 100.0 M 84.2	I・プロレス T・プロレス	ソビエト ソビエト	17.21 18.40
	優勝	100.0	T・プロレス	ソビエト	18.40

第35表

第36表

第18回東京オリンピック大会に参加した陸上競技選手についての一考察

やり投	16	Data	Name	Nation	Best Performance
Age	全員	MIN 17.3 MAX 31.5 M 24.4	ペネス ゴルチャコワ	ルーマニア ソビエト	60.54 62.04
	入賞者6	MIN 17.3 MAX 31.5 M 26.3	ペネス ゴルチャコワ	ルーマニア ソビエト	60.54 62.04
	優勝	17.3	ペネス	ルーマニア	60.54
Height	全員	MIN 160.0 MAX 186.0 M 170.0	佐藤弘子 ペネス	日本 ルーマニア	53.78 62.04
	入賞者	MIN 164.0 MAX 186.0 M 171.5	ルダシコワ ペネス	ハンガリート ソルマニア	58.27 62.04 62.04
	優勝	186.0	ペネス	ルーマニア	60.54
Weight	全員	MIN 55.0 MAX 94.0 M 67.8	佐藤弘子 ペネス	日本 ルーマニア	53.78 62.04
	入賞者	MIN 64.0 MAX 94.0 M 73.7	ルダシコワ ペネス	ハンガリート ソルマニア	58.27 62.04
	優勝	94.0	ペネス	ルーマニア	60.54

円盤投	22	Data	Name	Nation	Best Performance
Age	全員	MIN 17.9 MAX 35.6 M 25.8	パクヨンスク ボノマリオワ	韓ソビエト	39.12 54.70
	入賞者6	MIN 25.2 MAX 32.9 M 29.0	クレイベル アンゲロワ	ハシガリート ブルガリア	55.53 56.70
	優勝	27.5	T・プロス	ソビエト	58.89
Height	全員	MIN 166.0 MAX 183.0 M 174.1	横山弘子 カデラビ	日本 ルーマニア	48.78 54.02 46.41
	入賞者	MIN 167.0 MAX 180.0 M 174.7	アンゲロワ T・プロス	ブルガリート ソビエト	56.70 58.89
	優勝	180.0	T・プロス	ソビエト	58.89
Weight	全員	MIN 62.0 MAX 100.0 M 76.6	パクヨンスク T・プロス	韓ソビエト	39.12 58.89
	入賞者	MIN 73.0 MAX 100.0 M 82.7	ロツ T・プロス	ドバイエト	57.21 58.89
	優勝	100.0	T・プロス	ソビエト	58.89

第37表

五種競技	22	Data	Name	Nation	Best Performance
Age	全員	MIN MAX M	18.1 30.9 23.8	高橋 美由紀 ゲーナー・ル	日本
	入賞者6	MIN MAX M	24.8 30.8 26.3	ラブ・ストロワ ブイ・エト	ギリス 4,995
	優勝	25.0	I・プレー	ソビエト	5,035 4,995
Height	全員	MIN MAX M	162.0 180.0 171.2	高橋 美由紀 オクランズ・ロード ノア・メルヴェリ	日本 カナダ 日本
	入賞者	MIN MAX M	167.0 172.0 169.5	スターメイチ ランド	ユーロスラビア ギリス 5,035
	優勝	168.0	I・プレー	ソビエト	4,790 5,035
Weight	全員	MIN MAX M	53.0 75.0 63.4	高橋 美由紀 ウインスロー アーヴィング	日本 アメリカ カナダ
	入賞者	MIN MAX M	59.5 74.0 64.7	ラブ・ソード I・プレー ソビエト	ギリス ソビエト 5,035 5,246
	優勝	74.0	I・プレー	ソビエト	5,246

〔参考文献〕

Registration List of Individual Entries. ——The Games of the XVIII Olympiad, Tokyo IBM Olympic Datacenter.

「運動選手の体型(III)」米村昌二, 慶應義塾大学体育研究所紀要, 第3巻第1号。

The Spectacle of Tokyo Olympics 1964, ベースボール・マガジン社。

XVIII Olympiad Tokyo 1964, 朝日新聞社。

美と力 Tokyo Olympics, 読売新聞社。

アーサー・リディアード, ガース・ギルマー, 竹中正一郎訳「リディアードのトレーニング方式」P.37
～38, 昭和38年, ベースボール・マガジン社。

Amateur Athlete, September 1962.

Amateur Athlete, December 1962.